

徳島新聞「輝け高校生」クラブ活動助成金 活動報告書(2021年7月～2022年3月)

学校名 徳島県立海部高等学校
クラブ名 美術部

◆2021年の活動報告

iPad等を購入し、デジタル作品作りに取り組みました。ペーパーレスなので納得いくまで何度も描き直したり、Apple Pencil 1本で複数のペンの種類や色を表現したりすることで、作品作りの幅が広がりました。また、ペーパーライクという特殊加工された画面保護シートを購入したことで、スケッチブックに描くのと同じ感覚で描くことができました。その他にも絵の具などの画材を購入し、徳島県高等学校総合文化祭の作品作りに取り組みました。

◆助成金の使途

商品名	個数	金額
iPad Pro 11インチ	1	105,000円
Apple Pencil 第2世代	1	15,000円
タブレットカバー	1	3,440円
タブレット画面保護シート	1	2,130円
タブレットクッションケース	1	1,870円
Apple Gift Card	1	2,000円
iPad Pro保管金庫	1	5,870円
iMovieでの動画編集に関する本	1	2,090円
iPad Proでのイラストの描き方に関する本	1	2,420円
ターナー アクリルガッシュ 100ml	5	6,776円
三菱鉛筆 ユニ ポスカ	11	1,936円
呉竹 ZIG クリーンリアルブラッシュ 90色セット	1	15,840円
コピック スケッチベーシック 72色セット	1	27,086円
片面ホワイト ワトソンボード A4 10枚入り	2	4,356円
コピックでの女の子のイラストに関する本	1	2,200円
映えるデザインに関する本	1	2,420円のうち1,986円

合計 200,000円

◆今後の抱負

本校美術部は、わきあいあいと楽しく、豊かで実りある時間の中で、作品作りに取り組んでいます。今後は、助成金で購入したiPadや画材等を使い、従来のアナログとデジタル、どちらの技法も活かしていきたいです。そして、美術を通して地域に貢献できる活動をし、徳島県高等学校総合文化祭での入賞を目指して取り組んでいきたいです。

徳島新聞「輝け高校生」クラブ活動助成金
活動報告書(2021年7月～2022年3月)

学校名 みなと高等学園

クラブ名 環境園芸部

●2021年の活動報告

継続的な活動(交流・ボランティア)を通して、責任感や信頼する気持ち、協力する態度など、あたたかい人間関係を築くことや、集団の中で規律を遵守する精神を養い、仲間や学校を誇りに思う気持ちを育むことができた。

11月 サツマイモ収穫・焼き芋交流(乳児院・こども園・総合療育センター)

12月 地域への花苗プランター設置活動・植栽活動

イルミネーション点灯

献血キャンペーンでの花苗配布し献血普及活動

プランターへの花苗植栽交流(乳児院・こども園)

1月 大根の収穫交流(乳児院・こども園)

2月 ブロッコリーの収穫交流(乳児院・こども園)

●助成金の使途

イルミネーションや花の苗・種子・農業機器の購入に使用させていただきました。

・イルミネーション

・肥料

・花の苗

・農業機器

・補助具製作

・野菜の苗

・野菜の種子

●今後の抱負

地域での様々な活動や交流を通して、地域の方々と絆をより一層深めて『みなとから地域のみなさまへ元気と笑顔』を、とどけられるよう、取り組んでいきたいと考えています。

徳島新聞「輝け高校生」クラブ活動助成金 活動報告書(2021年7月～2022年3月)

学校名 徳島県立徳島商業高等学校
クラブ名 美術部

◆2021年の活動報告

2021年度の美術部は、油絵や彫刻、デザインなど各自が感染対策を徹底しながら取り組める活動を行った。その結果、県高文祭や近畿高等学校総合文化祭、公募コンクールにも出品し、数々の賞を受賞した。また難関である色彩検定1級に4名、2級に9名が合格し、優秀な団体として色彩検定協会奨励賞を受賞することができた。2020年度から行っている遊山箱の復刻絵付けは家庭クラブの依頼で部員が制作したものを阿波踊り空港に展示し好評を得た。近畿総文祭滋賀大会では、部員2名と顧問が、近江八幡の歴史ある町家に宿泊することでその良さを体感し、大阪での色彩検定1級2次試験終了後にはメトロポリタン美術館展を鑑賞することで本物の素晴らしさを味わうことができた。

◆助成金の使途

助成金は以下の通り使用させていただきました。

貸出用：色彩検定公式テキスト(1級, 2級, 3級) 色彩検定過去問題集(1級, 2・3級)

消耗品：演習用新配色カラーカード199a・演習用台紙、はさみ、テープ糊等

(検定料及び交通費等は自己負担)

遊山箱：無地(杉)(檜)、カシュウ漆塗料、水性エナメル塗料、刷毛・紙ヤスリ、シルクスクリーン等

近畿総文祭滋賀大会・・・近江八幡まちや倶楽部本館宿泊費補助(本校は4割自己負担のため)

メトロポリタン美術館展・鑑賞補助

その他：全国大会出品見学補助(高校生国際美術展、ダヴィンチを探せ高校生アートコンペティション)

等に出品応募する際の送料、表彰式出席見学の際の交通費補助(本校は全て自己負担のため)

近畿総文祭和歌山大会宿泊補助(本校は4割自己負担のため)

◆今後の抱負

今後も美術部は、油絵や日本画、彫刻、デザインなどの制作はもとより、色彩検定にも継続して挑戦し続けていき、地域の文化活動に貢献できる優れた人材育成の取り組みをとして多彩な活動を行って行きたい。2020年度から行っている遊山箱の復刻絵付けも様々な展示や催しに協力者として参加して行きたい。また、昨年のメトロポリタン美術館展の鑑賞や近畿総文祭での近江八幡での作品鑑賞参加のようにできるだけ多くの部員が県外での活動に参加し、そこでの刺激を創作活動のモチベーションに繋げていくことができるように努力して行きたい。

徳島新聞「輝け高校生」クラブ活動助成金 活動報告書(2021年7月～2022年3月)

学校名 徳島県立徳島北高等学校
クラブ名 放送部

◆2021年の活動報告

2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による様々な制約はあるものの、従来継続させてきた活動を少しずつ再開していくことができました。また、部員数が増えたことによって、外部募集への作品応募やボランティア活動を充実させることができました。徳島県主催の「若者発！人権啓発動画募集事業」への応募、「デジタルとくしま大賞」への応募(テーマ・阿波踊り、四国大学を受賞)、11月には勝瑞城跡で開催された「あいずみスマイリーマルシェ」のイベント司会進行を行いました。

県高文祭や県高校放送コンテストに向けての作品制作にあたっては、阿波人形浄瑠璃や四国遍路、阿波踊りなど、地域の歴史や文化を取り入れた作品を制作し、地域の魅力を発信しました。

夏から1年間の取り組みを取材したドキュメント番組を制作したり、FM徳島のラジオ番組にも生出演して吹奏楽部や合唱部のメッセージを伝えたりするなど、新しいチャレンジをした1年でした。

◆助成金の使途

グラフィックボードが搭載された4K動画を編集できるノートパソコン(16GB)、動画編集ソフト、スマートフォン用の集音マイクを購入し、音源収録、取材、番組編集を行い、各種大会や動画募集事業への応募に活用しました。

◆今後の抱負

コロナ禍以前に継続してきた北島町の北高ロード商店街のみなさんとの行事(スタンプラリー、北島ひょうたん夏祭り)への参加、また、昨年度から始まったあいずみスマイリーマルシェへの参加など、地域の方々と連携する機会を増やして、地域の課題を共有し、その解決に向けて積極的に行動していきたいと思っています。そのために、イベントの司会だけではなく、企画の発案や広報などにも挑戦していきたいと思っています。地域の魅力を発信する動画制作・番組制作、アナウンスを行うことによって、「人に伝える」力を向上させ、各種大会でも優秀な成績を残せるよう頑張っていきたいと思っています。

徳島新聞「輝け高校生」クラブ活動助成金
活動報告書(2021年7月～2022年3月)

学校名 徳島市立高等学校

クラブ名 市高ドナーアクション委員会

◆2021年度の活動報告

5/25 大倉 和代さん講演

7/15 渡部 源喜さん講演(オンライン)

8/17 来海 千寿子さん講演(オンライン)

8/17 ボランティアアワード2021参加(オンライン)

夏期 ボードウォークにて啓発活動

11月 臓器移植啓発ポスター作成

12/1 図書館展実施

1/22 愛媛大学医学部主催

脳死下臓器提供に係る講演会にて発表(オンライン)



◆助成金の使途

オンライン機器購入費

講師謝金・お土産・交通費

各種文房具の購入費



◆今後の抱負

6年に渡る取り組みが評価され、ボランティアアワード2021において、ももいろクローバーZ賞を頂きました。これに満足せず、これまでの活動を生かしながら、世代を超えて、この活動を継承・発展させていきたいと考えています。



徳島市立高等学校 市高ドナーアクション委員会